冬の野菜畑の管理

近年、暖冬といわれて久しく、冬の暖かさが当たり前のようになってきました。12月の野菜畑は8～9月に植えた野菜類の収穫や越冬させる豆類やたまねぎ、イモ類の収穫あとなどさまざまだと思います。年間を通じて効率的に野菜を栽培したいものですが、12月は一年で最も日が短く、寒さが増してくる季節のため、種まきや苗の移植ができるものがあまりありません。今回は、冬の野菜畑の管理について解説します。

防寒対策

収穫期を迎えている野菜類は寒さにより味が増してきます。根菜類やキャベツなどは寒さに強いですが白菜やカリフラワーは葉を利用した防寒や花蕾の保護をします。（図1参照）。

また、これから生育させる葉もの野菜（春菊、小松菜など）やレタスなどは、不織布のべたがけや、透明ビニールなどのトンネルで防寒対策が必要です（図2参照）。

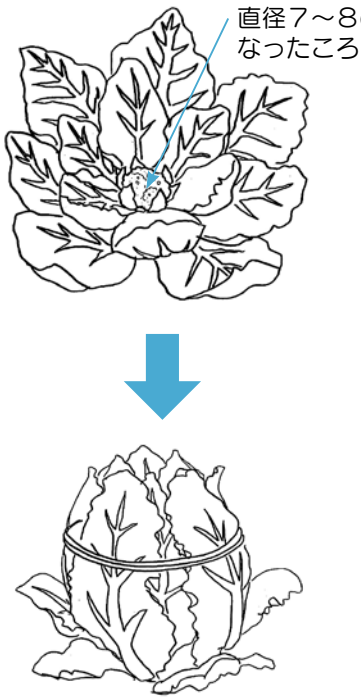

図1 カリフラワー花蕾の保護

図2 葉もの野菜の保護

また、イモ類は寒さに弱く、霜が降りるまでには掘り取り、一定温度で貯蔵します。サトイモの種芋貯蔵を図3で示しましたが、少量なら発泡スチロールなどで密閉し冷暗所で保管できます。ただし、乾燥しすぎないよう注意が必要です。サツマイモの貯蔵は低温による障害が出やすいので注意が必要です。

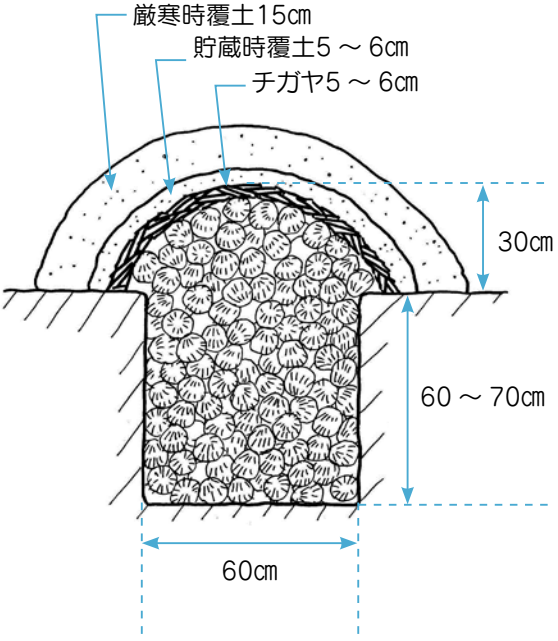

図3 サトイモの種芋貯蔵方法

冬の間作を利用した土作り

この時期、何も作付けされていない畑では、土地を肥やすため、堆肥や落ち葉などの有機物をすきこんでおきましょう。

越冬栽培野菜の管理ポイント

たまねぎ　1月頃から3月まで肥料を月に1回、化成肥料（N15％）を1aあたり2kgほど施用します。雨がなく土の乾燥が続く時は、冬でも潅水が必要です。

えんどう　竹の枝などを立てて防寒とつるが巻きつく準備をします。花が咲き始めたら肥料を少量ずつ施用してください。

そらまめ　株元から芽がたくさんでてくるので、芽かぎして1株あたり6本～8本程度にします。

山林火災対応力の向上を目指して

山林火災対応合同訓練

11月6日(日)、弓削上弓削の三石林道において、山林火災対応力の向上を図ることを目的として、消防団弓削方面隊と消防署による合同訓練を実施しました。

訓練では、最初に消防署員が訓練指導を行った後、弓削方面隊が大櫛田池から約800メートル先の三石林道(火災想定現場)まで、坂道を約40本のホース延長と5台の中継ポンプを配置し、放水訓練を実施しました。

今後も、災害発生時に迅速に連携対応できるように、各種合同訓練を継続的に実施していきます。

放水訓練

災害に強い上島町を目指して

防災教育セミナー

11月10日(木)、上島町岩城総合庁舎周辺にて、防災意識の啓発を目的として、上島町連合婦人会員の皆さまを対象に防災教育セミナーを開催しました。

参加者は、熱心に災害時に役立つ応急手当訓練や消火器使用訓練に取り組んでいました。また、袋を使って合羽を作る方法や火災時における煙の怖さと避難方法を体験することができる濃煙体験、地震を疑似体験できる地震体験車の乗車体験も実施し、「袋で簡単に合羽を作ることができるとは思わなかった」「煙で前が見えなくて怖かった」「揺れがすごくて動けなかった」などの感想があり、防災意識の向上に繋がるセミナーとなりました。

今後も、防災教育セミナーを継続的に実施することにより「災害に強い上島町」の実現に取り組んで参ります。

袋を使った合羽つくり

応急手当訓練

地震体験車

濃煙体験

子供の力で火災のない上島町を

全国秋季火災予防運動に合わせて、上島町内の各地区において、幼年消防クラブ員による防火パレードが実施されました。パレードでは、クラブ員が、拍子木を打ち鳴らしながら、「火の用心」と元気な声で地域の皆さまに火災予防を呼び掛けました。

11月7日弓削地区

11月1日岩城地区

11月14日魚島地区

11月2日生名地区

平成28年10月出動件数

摘要	火災	救急
弓削	0	22
生名	0	5
岩城	0	7
魚島	0	0
合計	0	34
平成28年累計	4	401

平成28年10月31日現在